



Our Precision, Your Advantage

環境・社会報告書

2018



## トップメッセージ

### はじめに

KYBは1935年の創立以来、振動・パワー制御技術を核に、さまざまな製品を提供し、総合油圧機器メーカーとしてグローバルで成長を続けてまいりました。これもひとえに、ステークホルダーの皆様の多大なるご理解とご協力のたまものと心より感謝申し上げます。

2017中期計画の2年目にあたる今年度は、昨年の課題を解決しつつ、さらなる成長に向けて飛躍する年です。KYBは今一度モノづくりの原点に立ち返り、飛躍に向けた強固な足場づくりを進めてまいります。これからも皆様の変わらぬご支援をたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 2017年度を振り返って

2017中期計画の初年度にあたる2017年度のKYBグループを振り返りますと、中国市場の回復、米国や新興国経済の堅調な推移に支えられ、連結売上高は期首目標3,569億円を上回る3,923億円、経常利益についても計画値を上回る見込みです。また積極的な受注活

動や、革新的製造ラインの構築などを通じて将来の成長に向けた取り組みも加速させました。その一方で、生産能力の逼迫や、高止まりする固定費など解決すべき課題も多く残されています。

2018年度は前年度に積み残した課題の着実な解決を図りつつ、激変する外部環境にも柔軟に即応できる経営体制と収益基盤の構築を着々と進め、中期計画達成に向けて従業員一丸となって取り組んでまいります。

### KYBグループの社会・環境への取り組み

2017年度、KYBグループでは、労働災害、品質問題など、決してあってはならない事案が発生し、ステークホルダーの皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけ致しましたことを心よりお詫び申し上げます。これらの反省を踏まえ、信頼回復に向けた安全と品質に対する取り組みをより一層強化してまいります。安全面では、「安全は何よりも優先する」の考えを反映した組織再編を実施したほか、品質面では、「品質は経営の基盤」との考えに基づき「品質経営」を宣言し、Bad News Firstの取り

# 油圧技術を核に振動制御、 パワー制御技術、システム 豊かな社会づくりに貢献し

KYB株式会社  
代表取締役社長執行役員

中島康輔

組みをスタートさせました。社外においても、安全や品質という日本のモノづくりの信頼の根幹を揺るがす事件が相次いでいます。KYBグループはこれら社内外の事例を通じて、会社存続の基盤は社会からの信頼にあることを再認識し、従業員一人ひとりの意識改革を通じた健全で誠実な企業体質づくりを推進してまいります。

自然環境の保護に関しては、KYBグループは「エネルギー・廃棄物の最小化を目指した工場づくり」を掲げ、エネルギーの部分共有に向けた環境整備やエネルギーの見える化、廃棄物の減量と再資源化の促進などの取り組みを進めております。

KYBグループの社会・環境への取り組みを、本報告書を通じてご理解頂き、より多くのステークホルダーの皆様から引き続きご支援頂ければ幸甚です。また、本書に関する感想のみならず、KYBグループに対する忌憚のないご意見をお寄せください。

化技術を融合させ、  
ていきます。

## Contents

- 2 トップメッセージ／目次
- 4 KYBグループの目指す姿
- 6 KYBグループ概要
- 8 こんなところにKYB
- 10 2017年度活動ハイライト

### 環境報告

- 14 **環境マネジメント**
  - 環境基本方針
  - 環境保全目標
  - 化学物質の管理
- 16 **環境負荷の低減活動**
  - 生産拠点活動

### 社会性報告

- 18 **お客様とともに**
  - お客様満足度向上の取り組み
- 20 **お取引先様とともに**
  - パートナーシップの構築
- 21 **地域社会とともに**
  - 社会支援活動
- 24 **従業員とともに**
  - 人財の活用と職場環境づくり
  - 人財育成と技術力向上
  - 従業員コミュニケーション
- 27 **安全で働きやすい職場づくり**
  - 労働安全衛生

### 経営マネジメント報告

- 28 **経営マネジメント**
  - コーポレート・ガバナンス
  - 内部統制／コンプライアンス
- 30 **環境データ編**
  - 編集方針

# Our Precision, Your Advantage

企業の社会的責任がますます重要視される中、KYBグループではステークホルダーの皆様の満足を得られる企業グループとなることを目指し、経営理念の下、私たち一人ひとりが企業の責任を自覚し、法令等を順守し行動に結び付け、信頼される企業であり続けるために企業価値向上を図っていきます。

## ステークホルダーの皆様との関係

### 経営理念

人々の暮らしを安全・快適にする技術や製品を提供し、  
社会に貢献するKYBグループ

1. 高い目標に挑戦し、より活気あふれる企業風土を築きます。
2. 優しさで誠実さを保ち、自然を愛し環境を大切にします。
3. 常に独創性を追い求め、  
お客様・株主様・お取引先様・社会の発展に貢献します。

### ビジョン

#### 人財育成

方針や戦略を深く理解し、情熱を持って目標を完遂できる人財を育成する。

#### 技術・商品開発

世界のお客様が感動し、安心し、そして信頼される商品を提供する。

#### モノづくり

お客様が満足する商品をつくる喜びと躍動感にあふれ、同時に現場主義に徹した緊張感のある工場にする。

#### マネジメント

企業の社会的責任を常に自覚し、効率の良いグループ経営を行う。



### 行動指針

- |              |                       |                      |                       |
|--------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|
| (1) 企業倫理     | (8) 最適品質の追求           | (15) 業界団体等、諸団体の活動参加  | (22) 社会貢献             |
| (2) 法令遵守     | (9) ステークホルダーとの関係      | (16) 社会に脅威を与える勢力との決別 | (23) 自然環境の保護          |
| (3) 人権の尊重    | (10) お客様(カスタマー)との取引   | (17) 適正な会計・決算処理      | (24) 安全衛生             |
| (4) 労働者権利の尊重 | (11) お取引先(サプライヤー)との取引 | (18) 情報開示            | (25) 働きやすい環境づくり       |
| (5) 会社資産の尊重  | (12) サプライチェーン         | (19) インサイダー取引の禁止     | (26) 教育・能力開発による現場力の向上 |
| (6) 知的財産の保護  | (13) 新技術の追求           | (20) 企業秘密の保持         |                       |
| (7) お客様のために  | (14) 安全な製品の提供         | (21) 個人情報の保護         |                       |



**Value**  
心地よい暮らしを  
導く技術

**Vision**  
モノづくりが  
人々の笑顔に  
つながる世の中

**KYBの目指す姿**

人々の暮らしを  
安心・安全・快適にする技術や製品を提供し、  
社会に貢献するKYBグループ

**Mission**  
一歩先の  
モノづくり

**KYBグループの社会的責任**

KYBグループでは事業活動の中で常に独創性を追い求め、お客様・株主様・お取引先様・社会の発展に貢献することを目指しています。

当社では経営理念とビジョンに基づいたCSR活動を各部署の年度実施項目に掲げ実践しています。そしてその行動をチェックして改善改新のサイクルを継続して実践しています。

従業員は当社の行動指針を携行しており、CSR(企業の社会的責任)の重要性の認識を深めています。

**Vision**

KYBブランドが実現したい世界  
モノづくりが人々の笑顔につながる世の中

KYBが目指すのは、モノづくりのよこびが社会の発展を支え、人々の笑顔につながっていく、そんな世の中です。

**Mission**

KYBブランドが果たすべき使命  
一歩先のモノづくり

KYBは、これまで培われてきた確かな技術力を生かして、お客様や市場に価値ある提案のできる企業であり続けます。新しい価値やかつてない満足をお得意先様に提供していくために、自らの力で、一歩先に進んだモノづくりを実践していきます。

**Value**

KYBブランドがお届けする価値  
心地よい暮らしを導く技術

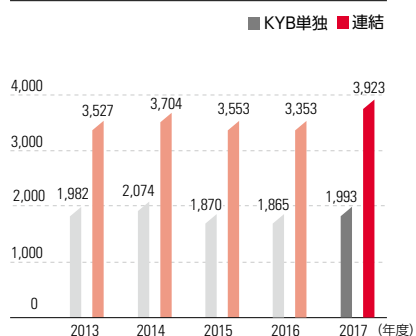
感覚的価値：心地よい暮らし、モノづくりのよこび  
機能的価値：確かな品質  
KYBがエンドユーザーに約束する価値。それは、独創的な技術と真摯な製品開発がもたらすワンステージ上の「心地よい暮らし」です。  
KYBがお得意先様に約束する価値。それは、エンドユーザーまでも「お得意先様」と考えることから生み出される「確かな品質」です。  
KYBが従業員に約束する価値。それは、一人ひとりが世の中を変えていくことを実感できる「モノづくりのよこび」です。

## KYBグループ概要

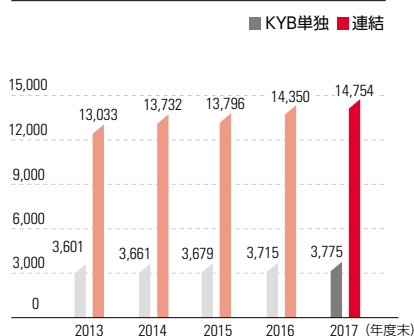
### 会社概要

社名	KYB株式会社	工場	熊谷工場、相模工場、岐阜北工場、 岐阜南工場、岐阜東工場
創業	1919年(大正8年)11月19日(萱場発明研究所)	研究・開発センター	基盤技術研究所、生産技術研究所 開発実験センター、工機センター、電子技術センター
創立	1935年(昭和10年)3月10日(株式会社萱場製作所)	従業員	連結：14,754名(2018年3月末現在) 単独：3,775名(2018年3月末現在)
設立	1948年(昭和23年)11月25日(萱場工業株式会社)		
本社	東京都港区浜松町二丁目4番1号世界貿易センタービル		
代表者	代表取締役社長執行役員 中島 康輔		
資本金	276億4,760万円(2018年3月末現在)		

売上高の推移 (億円)



従業員数の推移 (名)

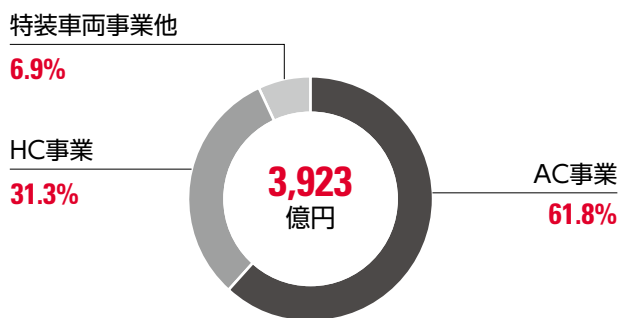


### 主な事業内容

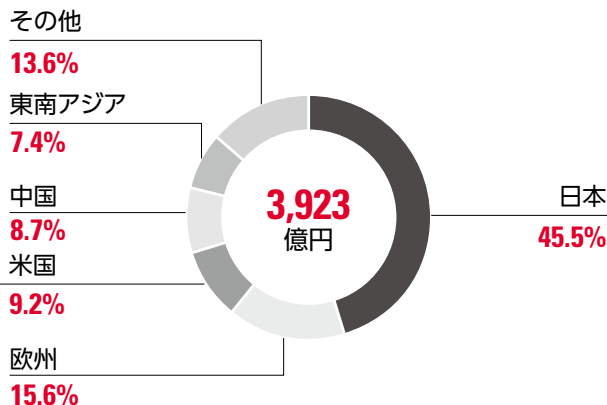
AC(オートモーティブコンポーネツ)事業	ショックアブソーバ、サスペンションシステム、パワーステアリング、ベーンポンプ、フロントフォーク、オイルクッションユニット、ステイダンパ、フリーロック
HC(ハイドロリックコンポーネツ)事業	シリンダ、バルブ、鉄道車両用オイルダンパ、衝突用緩衝器、ポンプ、モータ
特装車両事業、航空機器事業 システム製品および電子機器等	コンクリートミキサ車、粉粒体運搬車、特殊機能車、航空機用離着陸装置、同操舵装置・同制御装置・同緊急装置、シミュレータ、油圧システム、舞台機構、艦艇機器、トンネル掘削機、環境機器、免制震装置、電子機器

※ [AC事業]…「オートモーティブコンポーネツ事業」の略称 [HC事業]…「ハイドロリックコンポーネツ事業」の略称

2017年度事業別売上高の構成(連結)



2017年度地域別売上高の構成(連結)



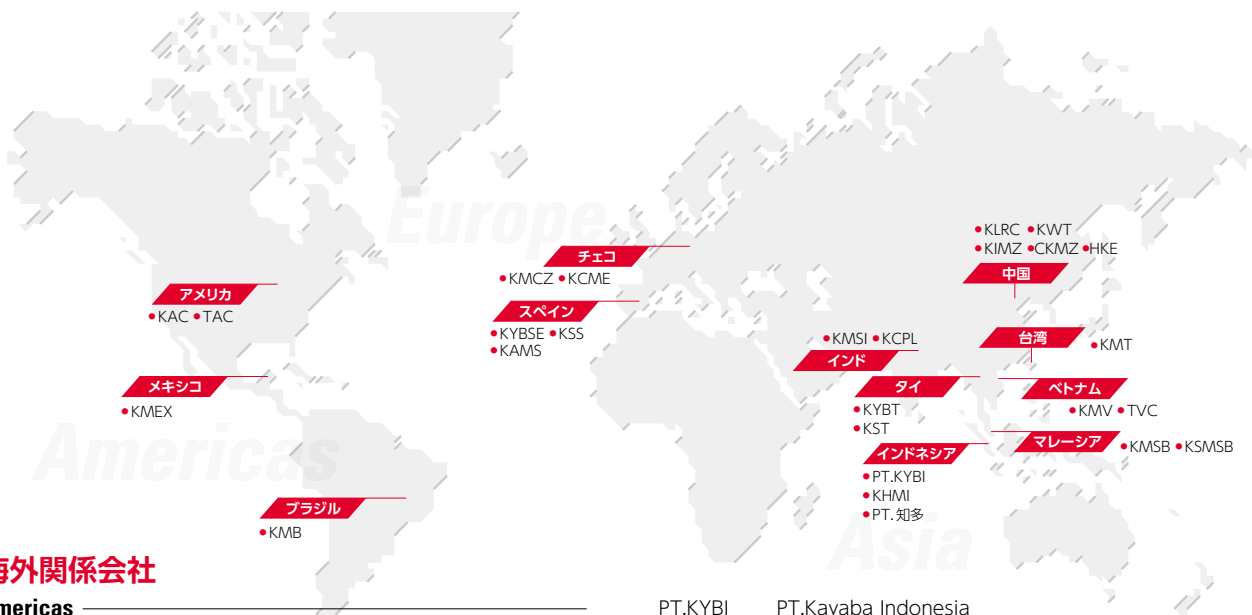
※ 記載されている売上高および対象範囲の詳細は、有価証券報告書をご参照ください。

## 国内関係会社

カヤバシステムマシナリー株式会社(KSM)  
 KYBトロンデュール株式会社  
 KYB-YS株式会社  
 KYB金山株式会社  
 KYBモーターサイクルサスペンション株式会社(KMS)  
 株式会社東和製作所  
 株式会社タカコ



## KYBグループ生産拠点



## 海外関係会社

### Americas

KAC KYB Americas Corporation  
 TAC Takako America Co., Inc.  
 KMEX KYB Mexico S.A.de C.V.  
 KMB KYB-Mando do Brasil Fabricante de Autopeças S.A.

### Asia

KIMZ 凱迺必機械工業(鎮江)有限公司  
 KWT 無錫凱迺必拓普減震器有限公司  
 KLRC 常州朗銳凱迺必減振技術有限公司  
 CKMZ 知多彈簧工業(鎮江)有限公司  
 HKE 湖北恒凱鎊汽車電動轉向系統有限公司  
 KMT 永華機械工業股份有限公司  
 KST KYB Steering (Thailand) Co., Ltd.  
 KYBT KYB (Thailand) Co.,Ltd.  
 KHMI PT.KYB Hydraulics Manufacturing Indonesia

PT.KYBI PT.Kayaba Indonesia  
 PT.知多 PT.Chita Indonesia  
 KMV KYB Manufacturing Vietnam Co., Ltd.  
 TVC Takako Vietnam Co., Ltd.  
 KMSB KYB-UMW Malaysia Sdn.Bhd.  
 KSMSB KYB-UMW Steering Malaysia Sdn.Bhd.  
 KMSI KYB Motorcycle Suspension India Pvt.Ltd.  
 KCPL KYB-Conmat Pvt.Ltd.

### Europe

KYBSE KYB Suspensions Europe, S.A.U.  
 KSS KYB Steering Spain,S.A.U.  
 KAMS KYB Advanced Manufacturing Spain, S.A.U.  
 KMCZ KYB Manufacturing Czech s.r.o.  
 KCME KYB CHITA Manufacturing Europe, s.r.o.

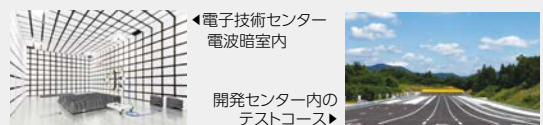
## 沿革

- 1919 萱場発明研究所を開設
- 1927 萱場製作所を創業
- 1935 (株)萱場製作所を創立
- 1948 萱場工業(株)を設立
- 1959 東京証券取引所に株式上場
- 1981 生産方式の呼称をKPSIに統一
- 1985 商号をカヤバ工業(株)に変更
- 1992 環境安全委員会を設置
- 1993 第1回全社スポーツ・文化交流大会を開催
- 1998 ISO9001の認証をKYB全工場が取得



創業当時の萱場製作所

- 1999 企業行動指針を制定
- 2001 ISO14001の認証をKYB全工場が取得
- 2005 新経営理念・経営ビジョン制定  
KYBを通称社名に採用
- 2008 第1回ロボットコンテストを開催
- 2011 開発実験センター開設・テストコース稼働
- 2015 商号をKYB(株)に変更



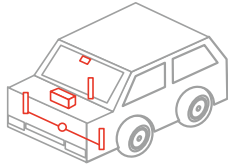
電子技術センター  
電波暗室内

開発センター内の  
テストコース

# こんなところにKYB

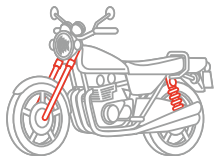
多くの「モノづくり」を支えるKYBの製品。それらは人々の当たり前の毎日を支え、安全・快適を提供しています。さまざまな場所で活用されているKYB製品をご紹介します。

## 1 自動車



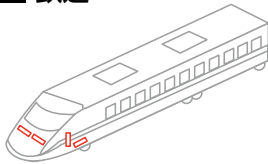
家族との快適なドライブ、過酷な条件を強いられるモータースポーツのシーン。全ての人を満足させるドライブバビリティを追求する自動車用機器

## 2 二輪車



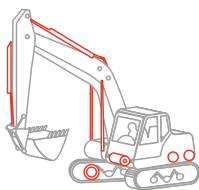
速さと安全性を極めたレースの中で磨かれた技術で、常に最高レベルの走行安定性を追求し、高い運動性能を実現する二輪車用機器

## 3 鉄道



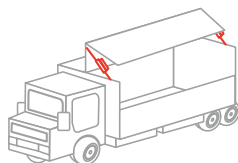
カーブ走行、対向車両とのすれ違いやトンネル突入時の風圧による横揺れを抑え、高速走行時における快適さを実現させる鉄道用機器

## 4 建設機械



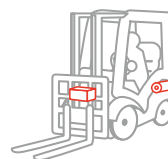
過酷な状況で使用される建設現場でも活躍する建設機械用機器

## 5 産業機械



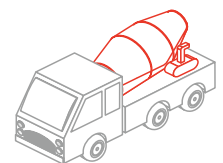
トラックなどの各種開閉装置を始め、様々な工場やオフィス・住宅の環境改善として使用されている産業機械用機器

## 6 産業車両



フォークリフトなどの産業用車両にもKYBの油圧技術が力を発揮。作業の効率化をパワフルにサポートする産業車両用機器

## 7 特装車両

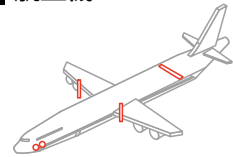


国内最大シェアを持つコンクリートミキサ車など快適な生活環境を支える特装車両





### 14 航空機



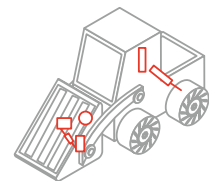
高い信頼性が要求される航空・宇宙技術分野で、操縦、降着、油圧・空気圧などに関して幅広く提供する航空機用機器

### 13 スポーツ・環境・福祉



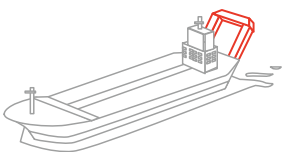
KYBのコア技術を生かしてスポーツや環境、福祉製品を開発

### 12 農業機械



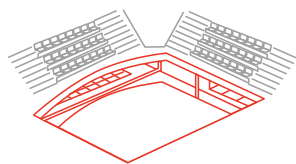
快適な農作業のために省エネ化、コンパクト化を実現した農業機械用機器

### 8 船舶



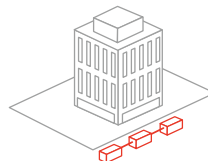
海底探索機や母船、輸送、補給、救助などKYBの油圧技術、張力制御技術が海上での快適な作業を支えています

### 9 建物・舞台装置



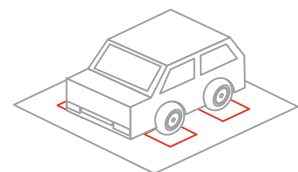
つり物や音響反射板などの、舞台における演出空間をKYBの技術が支えています

### 10 免震・制震



KYB独自の油圧技術を生かした免震および制震用のダンパのシェアは国内トップ。お客様との協働を基本とする徹底したマーケットインの思想の下、安全性を守ります

### 11 試験装置



各種シミュレータで、部品や製品の耐久性、性能の確認に使用される試験装置用製品

# 2017 年度活動ハイライト

振動やパワーの制御技術に加え、「システム技術」「電子技術」を融合し、さまざまな分野のお客様の幅広いニーズにお応えします。

今回のハイライトでは、モータースポーツ部の新設に加え、環境・安全に配慮した製品を紹介します。

## モータースポーツ部の新設



WRX「EKS」レース車両



Moto2クラス「TECH3 Racing Team」レース車両

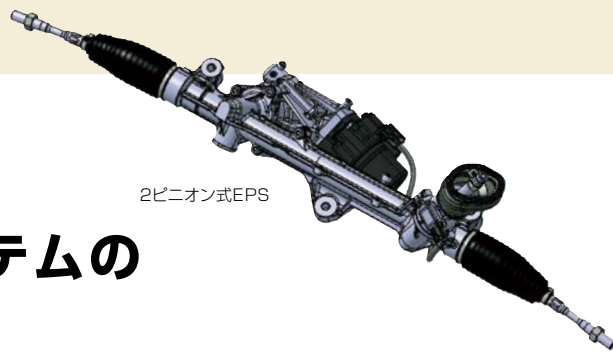
モータースポーツ活動の一層の強化を図るため、2017年4月1日付でモータースポーツ部を新設しました。すでに国際的レース等で活躍している四輪ショックアブソーバステアリング、二輪サスペンションの活動を集約し、世界のトップカテゴリーである世界ラリークロス選手権(WRX)・世界耐久選手権(WEC)・ロードレース世界選手権(MotoGP)への参戦を目指し、製品供給・技術サポートを行っています。2017年6月、WRXに参戦している「EKS」とスポンサー契約を締結しました。この活動を通じて、従来製品の軽量化を進め、環境に貢献する製品開発力、技術力の向上に努めていきます。



WRX 参戦「EKS」とのスポンサー契約調印式

# SUV向け 高出力ステアリングシステムの 量産化により社会に貢献

2ピニオン式EPS



SUVは、一般的にセダンに比べ車両が重いため、従来、高出力な油圧式パワーステアリングが採用されてきました。弊社で開発したSUV向け電動パワーステアリング(EPS)は、ハンドルとつながる入力軸と電動モータの出力を伝える軸を分離した2ピニオン式EPSにすることで、難しいとされていた「高出力」と「クイックなハンドリング」の両立を実現し、燃費の向上に貢献します。また、EPSのきめ細かな制御によって、車高が高いSUVであるにもかかわらず高級セダンに負けない

操舵フィーリングや、ドライバーの好みに応じたモード選択も可能になるとともに、車線逸脱防止支援システムによる予防安全にも貢献しています。さらに、機能安全国際規格であるISO26262に対応しており、車載する電気電子システムの安全基準を非常に高いレベルで達成しています。弊社では、人々の運転する楽しさと、快適性、安全性を高次元でバランスさせた新製品をさらに開発し、より良い社会に貢献していきます。

## 軽量ストラット式ショックアブソーバ

現在、環境問題などの深刻化を受け、自動車はより一層の軽量化が必要となっています。そういった状況の中、これまで鋼板のハイテン材(高張力鋼板)を使った薄肉化が主であった部品の軽量化は、異素材を適材適所で組み合わせるマルチマテリアル化へと移行しつつあります。各素材の長所を生かしながら、異素材を組み合わせることで各素材の短所を補い合うには、異素材間の安定した接合で付加価値を高めることが軽量化技術にとって重要です。

現在、CFRP(炭素繊維強化熱硬化性樹脂)の表面にクロムめっきを施した中空ピストンロッドに、射出成型したCFRTP(炭素繊維強化熱可塑性樹脂)製アウターを組み合わせたストラット構造のダンパを開発中です。鉄鋼に限らず、樹脂材料などを有効に活用することで、現量産品と比較して約40%の軽量化効果が見込まれます。

今後もダンパ軽量化を進め、燃費効率向上およびCO<sub>2</sub>排出量低減による環境問題への貢献を目指します。



軽量ストラット式ショックアブソーバ

## DS7 クロスバックへの セミアクティブサスペンション システム採用

PSA グループのラグジュアリーブランドである DS Automobiles、その頂点を担うDS7 クロスバックに、KYBのセミアクティブサスペンションシステムを採用頂き、欧州生産拠点の一つであるKAMS(スペイン)にて量産を開始しました。

本システムは、センサ、ECU、減衰力調整式ショックアブソーバからなり、人の身体に例えるなら、センサは感覚器官で、ショックアブソーバは筋肉と言えます。ECUは頭脳としての役割を果たし、どんな道でも狙った通り走り抜



電子制御  
セミアクティブサスペンション  
システム機器



システム採用車(DS7 Crossback)

けられる楽しさや安心感、心地よい空間といったうれしさを引き出すため、車体の揺れを抑制する最適な減衰力になるよう自動で調整しています。

この製品は、日本で開発した技術を海外拠点でシステム化しました。KYBが取りまとめたシステム全体としての品質が評価され、フラグシップモデルならではのユーザーエクスペリエンスの一翼を担う機会を得ました。

これからも、安らぎと走りの喜びが宿る技術を追求し、安心・安全・快適さを支える製品を提供し続けます。



特急ロマンスカーGSE

## 特急ロマンスカー GSE 向け フルアクティブサスペンション

小田急電鉄株式会社様の新型特急ロマンスカーGSE(70000形)に、フルアクティブサスペンションを採用頂きました。本品は、車体の揺れを電気信号に変換する加速度センサ、横揺れを打ち消す力を計算する制御装置と、電動油圧式アクチュエータで構成するシステム制御製品です。電気から油圧に変換したエネルギーを使って積極的に車体の振動制御を行うため、従来のパッシブやセミアクティブ方式のサスペンションに比べ車体の揺れを減らして、乗り心地を大幅に向上できます。アクチュエータは、パッシブダンパとセミアクティブダンパ

の機能も持ち合わせ、制御装置の信号で適切に切り替えられるように機能を集約しているため、システムの小型化ができるとともに車両搭載の省スペース化が実現できました。今後もお客さまの期待に応える安心で快適な乗り心地を提供できる製品を作り続けます。



フルアクティブサスペンション

## 可変減衰型オイルダンパ

免震構造とは、建物と地面の間に積層ゴムやダンパを設置することで、建物と地面が別々に動くようにし、地震による激しい揺れが建物へ直接伝わらないことを目的としています。近い将来の発生が危惧される南海トラフや相模トラフなどの巨大地震を想定し、建物の過大な動きを抑えるダンパを選定すると、発生頻度の高い中小地震では建物の動きが鈍くなり、地面の揺れが直接建物へ伝わります。そこで、巨大地震に加えて中小地震にも対応

可変減衰型オイルダンパ



できる免震用オイルダンパを清水建設株式会社様と共同で開発しました。中小地震では建物が滑らかに動き、巨大地震では過大な動きを抑えるよう、建物の動く量により適したダンパ性能に切り替える機能を付加しました。本ダンパは横浜市西区で施工中の「(仮称)MM21-54 街区プロジェクト」に採用されており、切り替え機能を簡素化し、ダンパ本体に収めることで、機能付加による材料の増加を抑え、資源の削減を実現します。

## オフィス家具転倒防止用 耐震ダンパユニット 「つっぱんだ」

近い将来に起こりうると言われている、南海トラフ地震などの大地震に備え、建物の耐震化は急速に普及しています。しかし、家具の固定は、「家具や壁に傷が付く」、「効果がないのでは」などの理由により、実際に対策している人は多くありません。そこでKYBのコア技術である制振技術を生かし、震度7の地震でも家具の転倒を防止することができ、家具や壁・天井に穴を開けることなく取り付けることができる、ダンパ(振動減衰器)を用いた転倒防止器具「つっぱんだ」を開発しました。

普段、「つっぱんだ」はばねによる反発力(小さい力)によって天井と家具の間で突っ張っています。いざ地震



が発生し、家具が転倒するような場合には、油圧による減衰力(大きい力)で家具の揺れを抑制しつつ、家具と天井の間をばねによる反発力で突っ張り続け、家具の転倒を防止します。一般財団法人建材試験センター\*の「転倒防止器具の性能評価基準」に定められた試験を実施し、最高評価☆☆☆(3スター)の認定を取得することができました。

今後も人々の安全に貢献する製品の開発を続けます。

\*一般財団法人建材試験センターでは東京消防庁の要請により「家具等の転倒防止器具の性能証明」事業を実施しています。